

寄付金の収受結果【概要版】

1. 令和3年度の寄付金の収受方法と「金額」の総額

- 令和3年度の寄付金の収受は、実証実験期間中に、以下3種の方法で行った。
 - A) クレジットカード決済（オンライン決済）
 - B) 山小屋での現金支払い
 - C) 銀行振込
- 各方法の合計による寄付金の収受額は、**552万6,023円**となった。

各方法別の内訳は以下表の通りである。

※ 集計は、実証実験期間（21/9/18～21/10/18）外の支払い分も含めて行った。

※ 期間中、上高地食堂にて直接手渡しで支払われた現金10,000円は「その他」として扱った。

	総額(円)	件数(件)	平均額(円)
合計	5,526,023	—	—
A クレジットカード	3,750,502	1,354	2,770
(手数料を引いた額)	3,544,288	1,354	2,618
B 山小屋	699,818	21軒(小屋数)	—
C 銀行振込	1,065,703	149	7,152
※ その他	10,000	1	—

2. 各方法別の収受状況

A. クレジットカード支払い分

① 「金額」の総額・件数・平均額、「金額から手数料を引いたもの」の総額

- クレジットカード決済における収受額の合計は**375万502円**、収受件数の合計は**1,354件**となった。ただし、同金額にはカード会社へ支払う手数料も含まれるため、手数料分を引いた総額は、354万4,288円となる。また、件数は同一人物の複数回振込分も含まれる（②で解説）。
- 収受の総額、件数から計算した、寄付1回当たりの金額は、2,770円となった。ただし、この金額には、寄付1回において支払者が自身単独分としての支払いを行っているケースと、複数人数分をまとめて支払っているケースの両方が含まれることに留意する必要がある。

総額(円)	3,750,502	中央値(円) *	1,058
件数(件)	1,354	最小値(円) *	317
平均値(円) *	2,770	最大値(円) *	50,000
金額から手数料を引いた総額(円)	3,544,288	最頻値(円) *	1,058

*手数料を含む

② 「金額」の【単発・継続別】の総額・件数・平均額

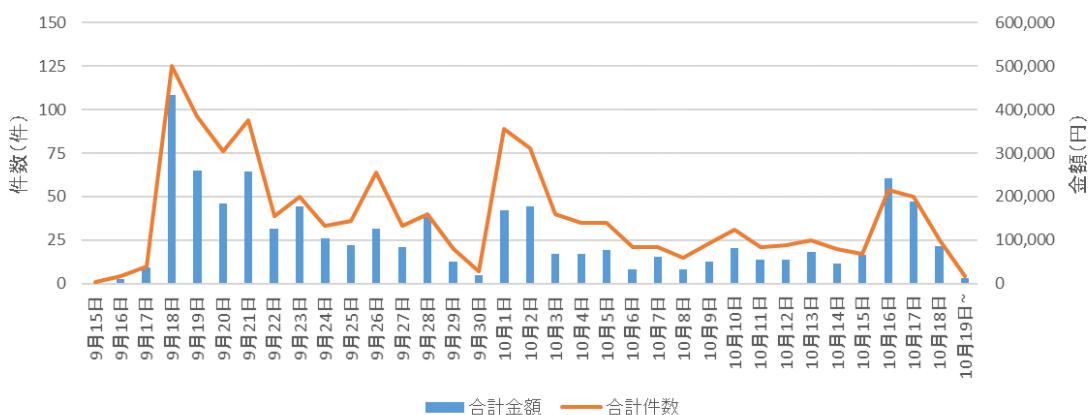
- 今回のクレジットカード決済においては、支払い時に「単発」あるいは「継続」のいずれかを選択して支払うシステムとなっていた。「単発」の場合は、その場の1回の支払いが終了であり、一方、「継続」を選択すると月に1回、設定した金額が継続して引き落とされる形となる。
- 同システムにおいて、「単発」で支払った件数は1,283件、継続で支払った件数は71件（支払者は45名／うち2回支払者が25名）となっていた。

単発		継続	
総額 (円)	3,684,198	総額 (円)	66,304
件数 (件)	1,283	件数 (件)	71
平均額 (円)	2,872	平均額 (円)	934

※手数料を含む

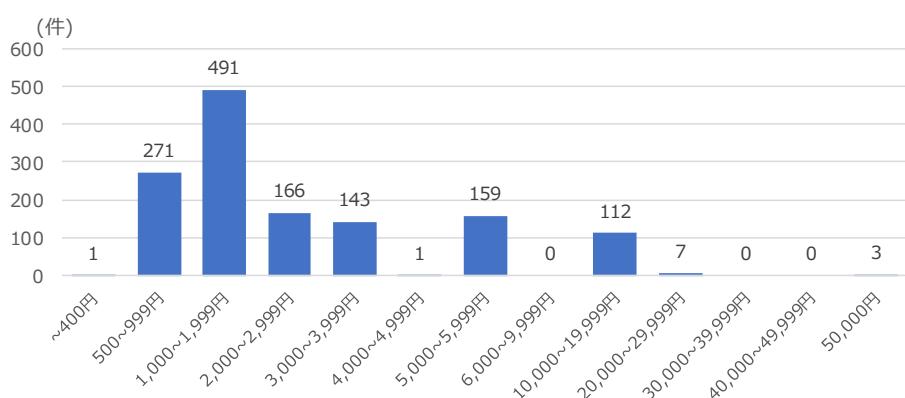
③「金額」の【日別】合計額・合計件数

- 実証期間中における日別の収受額、収受件数は以下グラフのようになった。
- 金額、件数ともに最も多かったのは、9月18日（土）の43万2,998円・125件で、9月の連休の初日であった。
- 金額は、やや前半（9月）の寄付額が多く、期間終盤の10月中旬にも上昇が見られる。また件数は、同様の傾向に加えて10月頭に件数が増えている。この傾向については、期間前半に取組自体に注目が集まつたこと、期間途中のメディアでの紹介に反応したことが要因として想定される。



④「金額」の【金額帯別】の件数

- 寄付1回当たりの金額の、金額帯の分布は下グラフのようになった。
- 目安として示された1口500円の金額に対して、概ね2口の金額での支払いが最も多く、次いで概ね1口の金額となった。
- また、2,000円台、3,000円台、5,000円台、10,000円台の支払いも同程度、100～200件見られた。



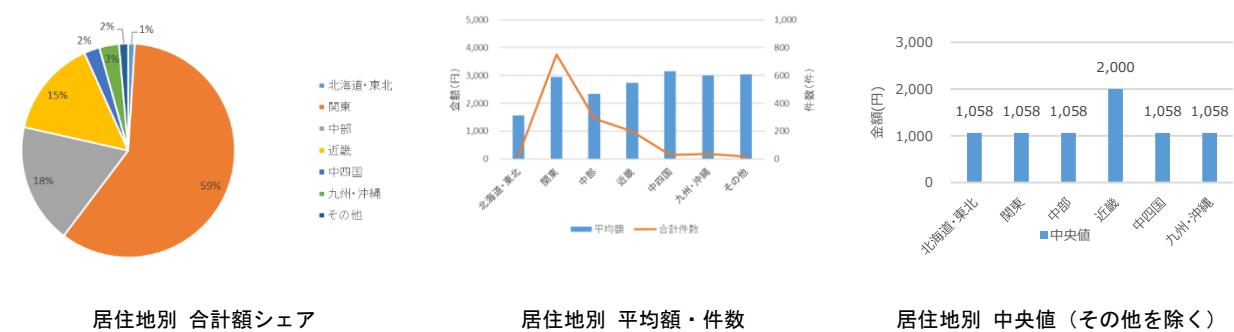
⑤「金額」の【年代別】合計額・合計件数・平均額

- 寄付金額の年代別の合計額の全寄付金額（375万502円）に対するシェア（構成比）を示したものが左の円グラフである。一方、右グラフは、棒グラフが年代別の寄付1回当たり金額の平均額、折れ線グラフが合計件数を示している。
- 平均額は年代が上がるにつれて上昇し、件数は50代が最も多い。その結果、合計額のシェアとしては50代が最も多く33%、次いで40代が25%、60代が21%となった。



⑥「金額」の【居住地別】の合計額・合計件数・平均額

- 寄付金額の居住地（地方）別の合計額の全寄付金額に対するシェア（構成比）を示したものが左の円グラフである。一方、右グラフは、棒グラフが居住地別の寄付1回当たり金額の平均額、折れ線グラフが合計件数を示している。
- 件数、合計額シェアともに、関東地方が多くなっている。



※ 居住地不明者（4名）は除いて集計した。

B. 山小屋での現金支払い分

① 「金額」の総額・件数・平均額

- 山小屋での現金支払いにおける収受額の合計は、69万9,818円となった。なお、収受対象の山小屋の軒数は今回、21軒となっている。
- 収受の総額、対象の山小屋数から計算した、山小屋1軒当たりの金額は、33,325円となった。

※回収した現金を北アルプス登山道等維持連絡協議会の寄付金口座に入金時には手数料が発生するため、手数料差引額が最終的な収受金額となる。

総額 (円)	699,818
小屋数 (軒)	21
平均額 (円)	33,325

C. 銀行振込分

① 「金額」の総額・件数・平均値・中央値・最小値・最大値・最頻値

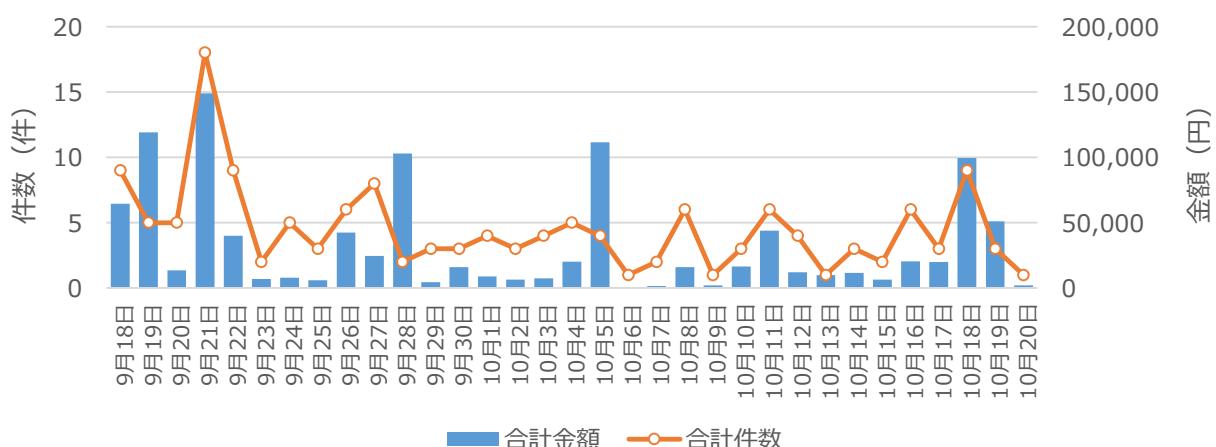
- 銀行振込における収受額の合計は、106万5,703円、収受件数の合計は149件となった。
- 収受の総額、件数から計算した、寄付1回当たりの金額は、7,152円となった。クレジットカード決済における同金額2,770円に対しては、高い支払額となった。ただこの金額はクレジットカード決済同様、寄付1回において支払者が自身単独分としての支払いを行っているケースと、複数人数分をまとめて支払っているケースの両方が含まれることに留意する必要がある。

総額 (円)	1,065,703
件数 (件)	149
平均値 (円)	7,152

中央値 (円)	3,000
最小値 (円)	500
最大値 (円)	100,000
最頻値 (円)	1,000

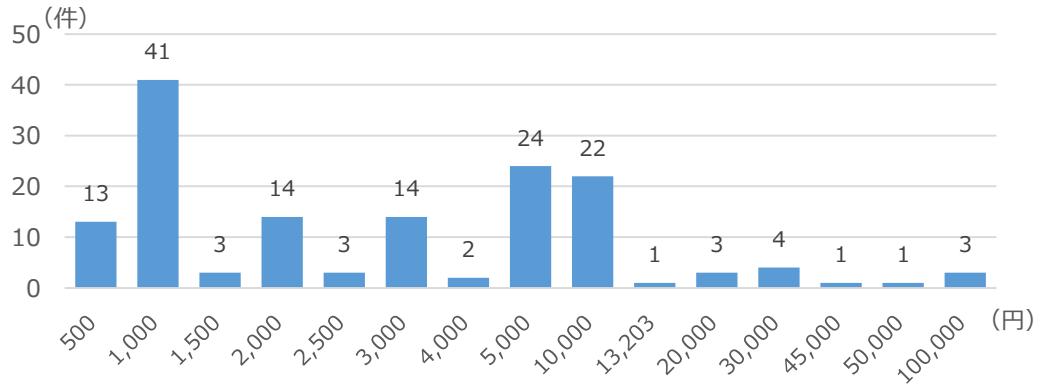
② 「金額」の【日別】合計額・合計件数

- 実証期間中における日別の収受額、収受件数は以下グラフのようになった。
- 金額、件数ともに最も多かったのは、9月21日(火)の14万9,000円・18件であった。



③「金額」の【1件当たりの金額別】の件数

- ・ 寄付 1 回当たりの金額の、金額帯の分布は下グラフのようになった。
- ・ 目安として示された 1 口 500 円の金額に対して、概ね 2 口の金額での支払いが最も多く、次いで概ね 10 口または 20 口の金額となった。
- ・ また、500 円、2,000 円、3,000 円の支払いも同程度、15 件前後見られた。



以上